

夕陽のまち  
西伊豆

# 絶景の夕陽めぐり



# 西伊豆

「日本の夕陽百選」に選定された西伊豆エリアの夕陽。海岸沿いをめぐれば、空と海、奇岩や漁船が交わり合う、美しい自然が生んだ芸術とも称

▲堂ヶ島の落日

えられる神秘的な輝きの秘密は、風化した岩が黄褐色に変化した岩石にある。富士山と駿河湾の眺望も抜群で、6月下旬からは色鮮やかなメロカリスも見頃を迎える。

大田子海岸の夕陽

漁船などを美しいシルエットに変える。情緒あふれる、ノスタルジックな風景を楽しまたい。

◇大田子海岸

春分の日と秋分の日前後に、男島と女島のふたつの島の間に夕陽が沈む様子は神秘的。メカッ

◇安良里港

小さな港町を照らす夕陽は島々や岩、沖を行く

チョと呼ばれるユニークな奇岩も人気だ。

◇堂ヶ島

リアス式海岸が生み出す不思議な形の岩や島と、沈む夕陽のコントラストが美しい。

トンボロ現象

西伊豆町の三四郎島(伝兵衛島、象島、中ノ島、高島で構成)は海の千満差で陸と地続きになる、日本でも珍しいトンボロ現象が起きる島。

西伊豆を海上から楽しむ

風光明媚な西伊豆の海岸線を海から楽しむのに最適なのが、堂ヶ島マリ

観光船コースは天井から美しい光が降り注ぐ青の洞窟・天窓洞やトンボロ現象で知られる三四郎島などを約20分かけて回る「天然記念物 洞くつめぐり」。クルーズ船コースは堂ヶ島周辺や天窓洞を約25分で回る「堂ヶ島クルーズ」や千貫門、赤壁、観音島などを巡り最後に天窓洞で締めくくる約50分の「千貫門クルーズ」、認定ジオガイドが同乗する「ジオサイトクルーズ」がある。

このほか30人以上の団体向けには堂ヶ島一波勝



行き来できる。その昔、源氏の武者・三四郎が中ノ島に隠れ住み、恋人が引き潮になる数時間、会いに行ったというロマンチックな伝説が残る。1983年に県の天然記念物に指定された。

堂ヶ島(片道40分)、堂ヶ島(妻良子浦(片道70分)のコースの観光船もある。8(52)0013。

問い合わせ 055

